

令和2年度豊島区行政評価

改善アクションシートに改善取り組み
の具体的記載があった事業一覧

令和3年度実施
政策経営部行政経営課

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
1	0204-03 帰宅困難者対策関係事業	防災危機管理課	-	・SDG'sの観点から、定期的な備蓄物資の入れ替えに際しては、現在5年保存可能な備蓄食料を10年程度のロングサイクルの備蓄食品に置き換えを行うことによりコストの見直しを行う。	32,396
2	0402-01 地域区民ひろば自主運営推進事業	地域区民ひろば課	-	・各NPO法人が各々処理している会計業務や労務管理業務を集約処理することで各NPO法人の事務負担を軽減し、安定した法人運営を支援するとともに、スケールメリットを生かし効率化を図る。	400,719
3	0501-01 中小商工業融資事業	生活産業課	・セーフティネット認定申請等、問合せの多い例をQ&Aや記入例にまとめ、HPに掲載した。 ・新型コロナウイルス感染症対応として業務量が増加したセーフティネット認定申請について、郵送申請を導入し、申請者(事業者、代行金融機関)の利便性の向上と窓口対応時間の大幅な削減を図った。	・引き続き、記入例やQ&Aの充実を図り、郵送申請件数を増加させるとともに、不備率を低下させる ・ホームページ上の記入例やQ&Aの充実を図り、郵送申請件数を増加させるとともに、不備率を低下させる ・セーフティネット認定の郵送申請を継続し、年間約3,000時間の窓口対応時間を削減	530,021
4	0501-02 としまものづくりメッセ事業	生活産業課	・個店や小規模企業者、起業家の出展へのハードルを下げるため、日替わり出展制度を導入した。 ・区事務局とメッセ運営事業者の担当業務を明確にし、双方でマニュアルを作成した。 ・出展申し込みを郵送・FAXからWEBフォームへ変更した。出展申込のオンライン化により、データ入力作業時間を削減。	・メッセ企画部会委員や地元大学等の協力による人件費の削減、印刷費や会場装飾費の適正化。 ・実行委員会・企画部会の各団体と連携し、満足度の高いBtoB企画を検討する。 ・マニュアルを基に効率的に業務を遂行するとともに、定期的に事務分担の見直しを行う。	27,030
5	0501-05 としまビジネスサポート事業(ビジサポ管理運営)	生活産業課	・融資受付を行う金融相談員の要件を信用保証協会OB以外にも拡充し、地元金融機関OB等の優秀な人材を確保した。 ・特定創業支援に伴う労務相談について、1度に最大3名の相談者を受け入れることで、予約待ち状況を解消した。	・電話での相談予約のみならず、オンライン予約を検討する。 ・ビジサポ協定機関との連携を強化し、推薦を得る仕組みを継続することで、安定的に人材を確保する。 ・起業相談の需要が高まる中、さらに相談枠を拡充するための方策を検討する。	4,225
6	0501-07 としまビジネスサポート事業(ビジサポ事業)	生活産業課	・各種セミナー等の申込やアンケートをオンライン化し、R2からはオンラインセミナーも実施した。 ・オンラインセミナーの導入により、参加者は移動時間や会場への距離に関係なく気軽にエントリー可能となった。主催者としては、会場確保や配布資料の印刷等の準備業務が削減され当日の受付要員が不要となったことで人件費の削減につながった。	・オンライン手法を、セミナーのみならず交流会等にも拡充する。	2,695
7	0502-05 文化芸術創造支援事業	文化デザイン課	・文化芸術の創造、発信拠点としての役割を十分に果たせるよう、開催方法にオンラインによるプログラム配信を新たに追加。 ・開催方法の更新に伴い、現行予算のまま1,975名(対昨年比純増)のオンライン視聴者数を得られたため、費用対効果が上がった。	・オンラインプログラムへのニーズが確認できたため、今後も内容・回数を検討しつつ拡充させていきたい。 ・今後もプログラムのオンライン配信を継続することにより、来場することが難しい区民でも文化芸術に触れる機会を提供する。このことを通じ、SGDs目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に貢献する。	4,708

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
8	0502-06 ぞうしがやこどもステーション運営事業	文化デザイン課	<ul style="list-style-type: none"> 「ぞうしがや こどもステーション」に来ることが困難な親子のために、令和元年度から区民ひろばでも、アウトリーチ活動を実施している。区民ひろばでのアウトリーチの実施回数を増やし、質の高いプログラムを多くの子どもに提供できた。 ぞうしがや こどもステーション 元年度 実施回数36回 → 令和2年度 実施回数39回 区民ひろば(アウトリーチ) 元年度 実施回数10回 → 令和2年度 実施回数10回 (感染症拡大防止のため、12回予定だったところを10回に変更した) 	<ul style="list-style-type: none"> アーティストを招へいするには一定のコストがかかるが、より区民の求めるアーティストを精査し選定することで、文化的体験の質を高める。参加者が1度きりの体験に終わることなく、子どもの成長に合わせ、様々なプログラムを体験できる機会を与えるため、アーティストと内容選定を年度ごとに検討していく。 ぞうしがや こどもステーションに参加したほか、区民ひろば開催でのアウトリーチに参加したことのある家族の割合…令和元年度66.7%、令和2年度69.1%、令和3年度70%(見込) 	6,470
9	0502-07 池袋モンパルナス回遊美術館事業	文化デザイン課	<ul style="list-style-type: none"> 山手線の西側のエリアのみならず、東側エリアにも拡大している。 コロナウイルス感染防止対策のため、一部オンライン開催を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 池袋を中心としながらも、順次、豊島区全域に拡大していく。 アフターコロナもオンラインでの配信等を検討する。 	7,000
10	0502-09 次世代育成事業助成(としま未来文化財団事業助成)	文化デザイン課	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが参加しやすいよう、開催期間を通年随時から、夏休み期間の集中開催とした。 子どもが文化に参加・触れる機会を継続して創出できるよう、オンライン配信プログラムを追加した。 開催方法の更新に伴い、1,600回以上のオンライン視聴数を得られたため、幅広い発信ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインプログラムへのニーズが確認できたため、今後も内容・回数を検討しつつ拡充していきたい オンライン配信プログラム対応のため、配信機材等のイニシャルコストが必要となったが、今後オンラインプログラムを継続・発信力の強化を行うことで、視聴数の増による費用対効果向上が見込まれる。 	7,446
11	0503-05 南長崎マンガランド事業	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> 東長崎駅南口にデジタルサイネージを設置。定期的な観光情報の発信を行える仕組みを構築。 モニュメントを活用したスタンプラリーの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージの効果的な運用のため、令和2年7月に開館したトキワ荘マンガミュージアムの事業展開と連携した情報発信を行う。 モニュメント巡りにより地域の回遊性を高めることで、商店街の活性化につながる取り組みを検討する。 	11,061
12	0503-10 文化観光施設回遊促進事業	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> 東コース、西コースの実費負担が異なるため、利用料金をコース毎に分けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規のツアールートやスペシャルコースを拡充することで、リピーターには飽きられず新規参加者も楽しめるツアーの増加を目指す。 	5,488
13	0503-20 観光情報発信事業経費	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> 外国語版のパンフレットについて、紙での発行からWebへと移行させたことにより印刷経費相当分のコスト削減を達成した。 マップのデザインや写真を最新にするなど、より多くの情報を掲載したり、見やすくしたりするような改善を行ってきた。また、令和2年度は文化・観光・交流都市の情報を集めたウェブサイトIKE-CIRCLEを公開し、情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では紙媒体の活用が情報発信の主流を占めているが、現状と照らし合わせるなかで発行部数やメディアの選定についても精査する。 今後も、マップやパンフレットの情報更新や見やすい工夫を施していくことに加え、IKE-CIRCLEでも区の魅力を発信して、観光誘客につなげていく。 	1,595
14	0504-10 大学との協働による「としまコミュニティ大学」経費	学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 各回受付をしていた受講参加について、年間を通じて一括申し込みを可能にした。 としまコミュニティ大学で取り組んだ学びや活動について、「としま学びスタイル発見カタログ」として年度ごとに冊子を作成し、学びの成果の可視化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> としまコミュニティ大学に新たに登録した学ぶ意欲のあるマナビト1年生に、「としま学びスタイル発見カタログ」を地域づくりにつながる学びの教材として活用することにより、地域で活動する人材が育成していく。 	2,599
15	0504-13 若者支援事業経費	学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 関係他課やNPO等とつながったことにより、若者支援の幅に厚みが出ると同時に関係職員(ブックカフェコーディネーターや担当職員)の理解が深まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、さらに関係他課、NPO等とのつながりを深めることで、地域と若者をつなぎ、若者の社会参画や多国籍、多世代との交流の場をつくる。 	1,600

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
16	0505-01 中央図書館閲覧貸出関係経費	図書館課	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌スポンサー制度による資料購入費の削減。 図書資料の郵送サービス。 様々なコロナ感染対策を図りながら開館を維持することにより、利用者のニーズに応えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館の拡大。 より一層のコロナ感染対策を行った上で、図書館利用者の拡大を図る。 	107,326
17	0601-02 誕生記念樹配布事業	環境政策課	<ul style="list-style-type: none"> 申し込みハガキの紛失時等に、電話や窓口での申し出によりハガキを再配布していたが、令和2年度から電子申請でも行えるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請導入後の3月～5月の実績が増加している。電子申請により申し込みやすくなり増加したことが考えられる。 2021年度より「グリーンとしま」再生プロジェクト事業経費と一本化する。 	0
18	0603-09 食品ロス削減推進事業	ごみ減量推進課	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス啓発として費用の掛かる紙面での啓発に頼らず、様々な媒体(SNSや区HP、区報、民間企業やNPOの発信等)で啓発活動を行ったことで支出を抑制できた。啓発に関するイベントの開催については民間企業やNPOとの連携により事業を行うことで、地域の多様な主体との協働関係が生まれた。 	—	956
19	0703-06 高齢者総合相談センター運営事業	高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 包括支援システム導入に伴い、区と包括間のシステムの標準化が実現したことでリアルタイムな情報共有が可能となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 類似した自己評価表が存在している。区に提出する評価表に集約し、不足する項目のみ包括事業計画書に記載することで、重複作成をなくし、業務負担軽減を図る。 	367,151
20	0703-07 認知症地域支援推進員活動事業	高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発活動として従来のパンフレットに加えて、小冊子「もしも」を新しく作成した。 認知症の普及啓発活動としてとしまテレビを活用すると共に、課のYouTubeチャンネルを作り、配信をした。 	<ul style="list-style-type: none"> 講座や研修の申込受付に電子申請を使用。アンケートもQRコードで簡単に回答可能とする。 としまテレビ等を活用した広報活動により、効果的な普及啓発活動が実施でき、費用対効果が高い活動が見込める。 電子申請も併用することで研修や講座の申込が増え、オンライン講座に伴う資料のメール送付作業が簡便になる。アンケートをQRコードにすることにより、集計作業時間が短縮でき、短時間で効率的に評価が可能となる。 	667
21	0703-40 高齢者クラブ運営助成事業	高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 補助金額を見直し、会員数が少ない団体でも活動ができるよう対象人数を変更した。対象年齢も制限をなくした。 高齢者クラブをPRするパンフレットや単位クラブ紹介冊子を作成するとともに、広報の特集号等で毎年会員募集を続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者クラブ連合会の常任理事等と検討を進め高齢者クラブにあった補助の方式に見直していく。 高齢者クラブが中心となるシニア大学の実施を検討している。 	20,208
22	0703-50 介護予防センター運営事業	高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防センター職員と介護予防サポーターがチームとなり、地域の区民ひろばや自主グループ、町会等に出向き健康チェックを行うアウトリーチ事業を実施した。 区主催の介護予防・認知症対策事業を介護予防センター運営委託の中に入れてことにより職員の事務量が削減した。介護予防センターによるアウトリーチ事業の実施により、地域に根差した活動が拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> 来館者及び介護予防センター登録者を増やすとともに、ヒヤリングフレイルの実施等、事業内容の充実を図る。 委託内容の見直しにより、コストの削減及びニーズに合った事業の充実を図る。また、介護予防サポーター等を活用した事業内容を充実させることで、地域の担い手の活躍を促していく。 	18,582
23	0703-51 介護予防サロン事業	高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者の卒業基準を策定したことにより、介護予防サロン参加者の固定化を一定程度防ぐことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで区の委託事業として高齢者総合相談センター等が担っていた運営面に関しても、元気な高齢者主体の自主的な運営に切り替えていくことで、通いの場における介護予防の効果向上を見込む。 	4,285

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
24	0704-14 障害者移動支援及び日常生活用具等給付事業	障害福祉課	・移動支援事業における請求事務の効率化を進めるため、単価の基準設定について他自治体調査を実施。	・事業者の請求、事務、区の支払い事務等について単価設定を簡素化し、効率的に処理が進められるよう検討する。	135,928
25	0704-17 視覚障害者外出支援事業	障害福祉課	・ことばの道案内の新規本数及びメンテナンスが必要なルートを削減。	・ことばの道案内の利用者数が減少傾向にあるため、新たにICT技術を活用した「shikAI」による支援策を実施する。 ・全体経費を抑えつつ、時代に合わせた新たな視覚障害者への支援策を充実し、常にスクラップ・アンド・ビルドを意識し、事業を展開する。	617
26	0704-50 心身障害者等移動手段提供事業	障害福祉課	—	・福祉タクシー事業者との委託方法を見直し、事務の効率化を図る。 ・福祉タクシー事業においてチケット印刷と例月の精算事務を一括して請け負う委託内容の見直しにより、区と委託事業者とのタクシー券のやりとりがなくなり、業務の簡略化が実現するとともに、事務の効率化につながる。	145,240
27	0705-02 被保護者自立支援事業	生活福祉課	・就労支援事業依頼書の作成者を担当ケースワーカーから就労支援員に変更する他、申請書記載内容の改善などを行い、ケースワーカーの負担を軽減し、支援内容の充実につなげた。	・支援員が作成する日報等について、事務効率化の観点から様式変更等を検討し、支援内容の充実を図る。	74,861
28	0706-01 被保護者自立支援事業	西部生活福祉課	・就労支援事業依頼書の作成者を担当ケースワーカーから就労支援員に変更する他、申請書記載内容の改善などを行い、ケースワーカーの負担を軽減し、支援内容の充実につなげた。	・支援員が作成する日報等について、事務効率化の観点から様式変更等を検討し、支援内容の充実を図る。	660
29	0707-01 給付適正化対策事業	介護保険課	・給付費通知については、制度に関する広報等を同封することで、制度に関連するタイムリーな情報提供と、毎回異なる情報提供が同封されることによる介護給付費通知のマナー化の回避に努めている。	・給付費通知については、送付時期、対象者、同封の案内等について課題を精査し、通信費の削減に努める。	10,170
30	0801-02 豊島区B型C型肝炎ウイルス検査事業	地域保健課	・重複受診防止のため、申込時の受診歴確認の徹底。	・一生に一度受診するという仕組みだが、現時点で転入者の過去受診歴把握が難しく、重複受診を妨げられていない。PHR(Personal Health Record)の活用で受診歴管理が容易になることで、無駄な支出を抑えることができる見込み。	4,982
31	0801-08 特定健康診査・特定保健指導事業(一部国民健康保険事業会計)	地域保健課	・令和2年度より初回面接分割実施を導入したことにより初回面接実施率が向上した。	・初年度実績や反省を踏まえ、手順の簡素化などでさらなる実施率向上を図る。	280,105

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
32	0801-11 後期高齢者医療事業健康診査関係経費(後期高齢者医療事業会計)	地域保健課	・がん検診受診勧奨チラシを同封することでがん検診認知度向上を図った。	・PHR(Personal Health Record)の活用による全国比較や、同レベル地域との比較など、医療費評価、健康評価を実施。 ・PHRの実現により、自身の健診データ確認がどこでも可能となり、同年代受診者や全国平均との比較などにより健康意識向上が図られる。ひいては医療費削減につながる事が期待される。	197,000
33	0801-13 眼科検診事業	地域保健課	—	・相手を自発的により良い選択に導くナッジ理論を活用したPR方法で受診率向上を目指す。 ・単独実施受診率は一桁であるが、特定・福祉健診との同時受診では20%台であることから同時受診者へのさらなる受診勧奨策を検討していく。	6,086
34	0802-03 食品衛生関係事業	生活衛生課	・一斉監視における現場簡易検査を見直し、細菌培養にかかる時間を短縮した。 ・細菌の培養検査による衛生指導を中心とした監視指導から、一部の業種の一斉検査を培養を要しないATP検査を用いた衛生指導に切り替えた。	・ATP検査による監視指導を更に推進し、短縮した時間をHACCPの考え方に沿った監視指導に充てていく。	38,620
35	0803-09 幼児歯科健康診査事業	健康推進課	・0歳児から4歳児までとしていた対象者を、1歳、2歳、2歳半、3歳半から4歳と対象者を明確にし、受診勧奨をした。	—	4,464
36	0803-19 災害時における在宅人工呼吸器使用者に対する支援事業	健康推進課	・「個別支援計画作成の手引き」印刷製本の業者依頼をやめ所内印刷機で作成 ・需用費の削減等により事業費は減少している。	・「手引き」の印刷配布から区ホームページへのデータ掲載による周知に変更 ・委託契約や支払い事務の簡略化 ・対象件数の増加が見込まれるが、事務の効率化により人員は増やさず対応する。	3,671
37	0804-02 女性しなやか健康づくり事業	長崎健康相談所	・広報、ホームページ、ちらしに加えて「見る知るモバイル」を活用した。 ・若い女性をターゲットとして、公民連携のFFパートナーシップ事業で池袋ルミネ(FFパートナーシップ事業)での講習会を開催した。池袋駅西口という条件が交通が便利だったため好評であった。	・「としま鬼子母神プロジェクト」との事業統合による人的効率化。 ・コロナ終息後は、官民連携を活用して、若い女性が参加しやすい池袋ルミネ等民間の会場での講習会等を開催する。 周知方法を「見る知るモバイル」の配信を活用するほか、としま公式SNS活用し、若い女性の参加者が増える。	1,130
38	0804-03 母親学級開催事業	長崎健康相談所	・健康推進課のパパママ準備教室・母親学級の委託化によりコールセンター受付に変更したため、当相談所の開催分もコールセンター受付に一元化。	・共働き家庭を視野に入れ、パパママ準備教室を当相談所でも開催。 ・コロナ禍では、他者との交流を求める参加者のニーズも高いことがわかり、交流の機会も確保するとともに、ニーズの高い「パパママ準備教室」の委託開催やオンライン教室について、人的コストをかけずに区民の選択肢を増やす効果が見込める。	281

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
39	0804-04 乳幼児健康診査・相談・訪問事業 (こんには赤ちゃん事業・母子保健対策)	長崎健康相談所	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導状況を地区担当保健師が事前に確認し、漏れがないようチェックシートに記載し情報共有。また、個人健診票に目印シールを貼付し、限られた時間の中で効率的な個別支援に繋げている。 診療所届の届出内容を変更し、健診(医療行為)ができる認可スペースを拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> WITHコロナの環境を意識し、健診等の来所者の効率的な動線を考えて業務手順を再構築する。 令和4年度に予定している改築工事終了後の移転により、新しいスペースでの業務手順を考案する。 新施設は健診会場がワンフロアになる上に、呼び出し設備等、施設の充実が期待できる。移転後の業務動線の整理をすることで、コストをかけずに「密」を作らない環境を作れる見込み。 	14,068
40	0804-05 幼児歯科健康診査事業	長崎健康相談所	<ul style="list-style-type: none"> 診療所届の届出内容を変更し、健診(医療行為)ができる認可スペースを拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に予定している改築工事終了後の移転により、新しいスペースでの業務手順を考案する。 新施設は健診会場がワンフロアになる上に、呼び出し設備等、施設の充実が期待できる。移転後の業務動線の整理をすることで、コストをかけずに「密」を作らない環境を作れる見込み。 	1,502
41	0804-06 栄養指導事業	長崎健康相談所	<ul style="list-style-type: none"> 仮移転施設やコロナ禍の三密を避けるために、離乳食講習会等の定員は見直したが、1回の時間を短縮し、1日で2回実施することで定員を確保して実施。実演で調理の実際がみられるのはわかりやすいと好評である。作成したホームページで、時間短縮の内容の補完の効果があつた。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食等のホームページを充実させるとともに、オンライン講習会について検討し、参加できる人や機会を増やす。 	1,275
42	0804-07 精神保健事業	長崎健康相談所	<ul style="list-style-type: none"> ケースのアセスメントにより、来所が困難な引きこもりケースなどは、訪問による相談も実施するなど柔軟に対応。関係者による相談にも対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談事業の記録のシステム化により、情報の共有とペーパーレス化を図る。 	700
43	0901-02 子どもの権利推進事業	子ども若者課	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体主催のイベントと共同開催することにより、普及啓発のための講演会やパネル展示の集客力向上など、広報宣伝活動に相乗効果が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> eラーニング導入により、職員に対して効率的かつ効果的に子どもの権利の普及啓発が可能となる。また、コスト面では、職員研修用の講師報償費の削減にも繋がる。 	1,066
44	0901-05 プレーパーク事業	子ども若者課	<ul style="list-style-type: none"> 公園や区施設、民間施設を利用した出張プレーパークを実施し、外遊びの機会を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により公園、民間施設での実施が難しいが、保育園やスキップなど区施設により実施する見込みである。 常設プレーパークの委託事業に出張プレーパークの開催についても委託することで、出張プレーパークの安定的な開催が実施出来ているが、開催回数に限度もあるため、コロナの収束後には他の事業者と共催するなどし開催回数の増加を目指す。 	11,290
45	0901-06 子ども若者総合相談事業	子ども若者課	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談窓口で相談支援員が対応できないことをなくすために相談員を増員した。 開設から3年目の令和元年度から相談支援員を1人から1.5人と増員をしたことにより同行支援、支援会議などに参加する際の窓口が不在になることがほぼなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍なので人を集めないで情報等を発信できる方法(としまテレビ配信など)を検討する。 支援会議や同行訪問に出やすくなったことで、相談体制をより強化していく。 	7,551
46	0901-12 としま子ども食堂ネットワーク事業	子ども若者課	<ul style="list-style-type: none"> 補助金申請時の様式を東京都の様式と合わせ事務の効率化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体に配付する補助金マニュアルにより、補助金清算時の事務の効率化を図る。 	4,124

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
47	0902-01 児童発達支援事業	子育て支援課	・民間事業所を併用されている方は、センター以外で相談支援を受けるケースもあり、民間事業所との連携により、支援内容の重複が解消し、結果としてセンターにおけるケースワークの充実につながった。	・個別指導の需要は増加しているため、民間療育施設との連携、関係部署との役割分担を図り、発達支援事業の更なる充実・強化につなげる。	26,468
48	0902-14 子育て訪問相談事業	子育て支援課	・バースデー訪問の返信方法をはがきからQRコードを読み取りメール返信ができるようにし、返信件数の増加を目指した。	・訪問相談の継続利用者の増加、要支援家庭の早期発見・早期対応ケースの増加を図る。	1,428
49	0902-24 ゆりかご・としま事業	子育て支援課	・「おめでとう面接」(出産後1年までの産婦及びその家族との面談)について、電話対応も開始した。	・with,afterコロナを見据え、受付期間の延長など、更なる改善を実施する。 ・定期的な広報による周知など、面接率の向上に向けた改善を実施する。 (令和2年度面接率66.9%→令和7年度同80%が目標)	9,490
50	0902-25 東部子ども家庭支援センター事業	子育て支援課	・役割分担の見直しにより担当業務の偏りを軽減。 ・利用ニーズの分析や既存事業の検証を実施。 ・講座の内容、対象を見直し区民のニーズにあった企画を実施することで来館者数の増加につなげた。	・報告データと相談システム入力方法の見直しにより事務処理の効率を向上する。 ・センター機能強化に向けた検討を継続する。 ・職員一人あたりの相談対応件数の増加見込み(H30年度3,075件→R3年度4,000件の目標)。	11,084
51	0902-26 西部子ども家庭支援センター	子育て支援課	・SNSやHPを利用して情報発信の幅をコストをかけずに広げた。 ・面接でのみ対応していた「バースデー訪問」や「おめでとう面接」を電話でも対応可とした。 ・1歳以上の子どもをもつ保護者の交流の場がなかったため、「ぐるんぱタイム」を再開。 ・電話、メールでの相談が増え、利用者への支援の充実を図れた。(平成30年度479件→令和2年度897件)	・孤育での解消、育児不安の軽減につながるプログラムを引き続き検討していく。	12,846
52	0903-03 給食関係事業	保育課	・給食調理委託の検証を行うため、給食調理業務委託検証委員会で給食調理委託の検証を実施。	・検証結果や委託の状況を踏まえ、給食調理業務委託をさらに進める。	265,958
53	0903-17 認可保育所等誘致・整備事業	保育課	・平成28年度をピークに施設整備数の抑制を進めており、その状況下においても待機児童ゼロを達成している。	・保育需要の予測をさらに精査することで、第二期子ども子育て支援事業計画で定めた施設整備数(令和2年から令和6年まで6園の整備)について、2～3園程度へと抑制を図りつつ、待機児童ゼロの維持を図る。	414,994
54	0903-21 区内保育施設イケバス活用事業	保育課	・としまキッズパークやサンシャインシティの協力を得て、サンシャイン水族館を回るコースを新設した。 ・イケバスの借り上げ日にとしまキッズパークへの送迎のみを行うコースを運行することで、イケバスの待機時間を有効活用した。	・施設への滞在時間に係る要望が多いことを受け、滞在時間を延ばすことが出来ないか検討を行う。 ・イケバスの運行業務委託と水族館の施設利用に関する委託契約について、現在、別の契約としているが、仕様等の見直しにより、旅行業法(昭和27年法律第239号)に基づく、受注型企画旅行の企画・催行が行えることを受注の要件とした契約とすることで、契約、支払関係事務の効率化を図り、その分の事務処理時間を他業務に振り分けることが可能となる。	6,850
55	1001-11 グリーン大通りエリアマネジメント推進事業	都市計画課	・事業を委託することで手続きの削減など効率的な事業実施ができています。また、国家戦略道路占用事業を活用することで道路法の規制を緩和し、事業を拡大することが出来た。	・エリアマネジメント協議会の都市再生法人化を進め、効率的な業務遂行を目指す。	10,000

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
56	1001-12 池袋副都心交通戦略の推進	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・荷さばきスペース利用状況調査において、調査員による調査から防犯カメラのデータを活用した調査に変更。 ・南北区道の歩行者優先化による周辺の交通への影響について、検証に必要な十分な調査を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラに加え、スマホのデータ分析や最新の画像解析技術を活用した交通量調査などICT技術を積極的に取り入れていく。 ・これまで実施してきた現場での調査員による交通調査について、最新のICT技術を活用した調査にシフトすることができれば、これまで費やしてきた調査費用(委託料)が大幅に削減できることが期待できるとともに、人流の傾向や滞在時間といったこれまで把握できなかった要素も併せて把握することが可能となる。 	18,352
57	1001-13 池袋駐車場整備計画の策定	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・運用に伴う事務手続きを含め事務局の民間移行を検討。 ・地域ルール運用に伴う審査手数料および地域貢献協力金を原資とした民間主体の運用を検討。 ・将来的な民間主体の運用を見据えた地域ルールの運用体制が確立し、令和2年10月より運用を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用に伴う事務手続きを全て民間に移行。 ・民間主体の持続可能な地域ルール運用スキームの構築。 ・今後地域ルールの適用件数が増え、持続可能な運用のための資金が確保され、事務局を担う民間事業者が確立されれば、運用をすべて民間に移行でき、地域が主体となった駐車施設に関する地区マネジメントが実現できる。 	8,481
58	1001-14 地域公共バス運行支援事業	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎移転に伴いルートの変更を行い利便性が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の進捗に伴い他の路線についても検討を進め、交通不便地域の減少を図る。 	21,585
59	1001-15 副都心移動システム推進事業	都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> ・試乗会、各種イベントへの参加、サポーター企業等に特別乗車券を販売、区内小学校児童に招待券配布、タレント・企業等とコラボ企画の実施。 ・回遊性が高く、池袋駅周辺施設へのアクセスが容易なルートに変更。 ・IKEBUSは、池袋をゆっくり走る真っ赤な乗り物として広く認知されルート変更により徐々に利用者が増加した。また、誘導員の配置変更等により当初見積もりより運行経費が削減できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ルートや周遊時間の見直しで利便性を向上し、運賃収入の増額を図る。 ・これまでの取組みを継続するが、サポーター企業とのコラボ企画を強化していく。 ・更に経費削減を進めると共に、インバウンド等の来街者需要の増加が見込めな中、区民や近隣からの来街者需要にシフトし、利用者の増加を図る。 	142,837
60	1003-09 居住支援協議会事業	住宅課	<ul style="list-style-type: none"> ・としま居住支援バンクの対象物件の範囲を拡大化し、区内の空き家・空き室であれば、登録可能とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・としま居住支援バンクの登録数の増加を目指し、物件登録の簡便化を検討する。 	4,500
61	1101-09 交通安全対策事業経費	土木管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より区立保育園に加えて、私立保育園の園児もアンケート調査及び普及啓発の対象に加えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区立・私立保育園へのアンケート調査及び普及啓発の際の方法を見直し、更なる着用率の向上を目指す。 	19,399
62	1301-04 家庭教育推進事業	庶務課	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座の実施についてPTAが提出すべき書類を減らし、PTAの担当や庶務課職員の事務軽減を図った。 ・今までは対面のみでの実施であったが、オンラインでの開催を開始することにより、参加できる保護者の間口を広げ、気軽に参加できるよう事業の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA向けの家庭教育講座についての資料内容を次年度に向け検討し、PTAからの問い合わせ対応を減少できるようにする。 ・開催についての相談の際に、オンラインについての実績の案内や、マニュアルを作成することで、開催の選択肢としての周知や、実施方法の共有を図る。 	1,277
63	1301-08 文化財保存活用事業経費	庶務課	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における「文化財の活用」という観点から、区広報番組による文化財紹介や動画配信サービスによる情報発信を開始した。 ・試掘及び発掘調査については、民間発掘会社とNPOへの委託を併用することで、効率的かつ効果的な事業実施に努めている。現場毎に異なる工程費用を積み上げ契約可能となるよう単価発注することで、事業コストの抑制に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組みに加え、文化財講座等の普及啓発コンテンツの充実等により、文化財の活用資する取り組みをさらに進めていく。 ・区内再開発に伴い、集合住宅、戸建ての建て替えによる発掘届受理件数が増加しているため、これに比例して試掘・確認調査件数の増加が見込まれる。現場状況に応じた単価発注による業務委託を確実に実施することで、事業コストの増加抑制を図る。 	30,852

改善アクションシートに改善取り組みの具体的記載があった事業一覧

No.	事業名	所管課名	過去の改善の取り組み	今後の改善に向けた取り組み	令和3年度 予算 (事業費)
64	1301-06 幼稚園管理運営経費	庶務課	・入園手続き窓口の一元化を行った。	・入園手続のオンライン化の検討。	1,439
65	1301-05 学校・地域の連携推進事業	庶務課	—	・豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会において、地域の多様な人材や文化資源を学校教育に有効に取り込む仕組みを盛り込んだ推進ガイドラインを作成することで、今後、効果的なコミュニティ・スクールの導入が見込まれる。	1,057
66	1303-03 放課後子ども教室事業	放課後対策課	・各企業の社会貢献活動と連携することでコストを抑え、オリンピックによるスポーツ指導をはじめ、多彩で質の高いプログラムを展開・実施している。	・施設監査での指摘を受け、登録率を改善するため、学童クラブ申請と同時に放課後子ども教室への登録も可能となるよう、利用届出書の提出方法を改める。	11,619
67	1305-05 いじめ防止対策推進事業	指導課	・新学習指導要領に伴い変更した学習状況調査契約業者により、質問紙調査i-checkを実施することとした。	・本区の児童・生徒の実態に合った資料提供が可能な業者を選定し、変更の際にはそれと合わせた心理検査に変更する。	8,270
68	1306-02 スクールソーシャルワーカー・適応指導教室経費	教育センター	・適応指導教室に心理職を配置し指導の効率化を図った。 ・様々な状況や特性に対応するため、心理職の配置に加え、教室のあり方から抜本的に見直し複数タイプの教室を整備するなどした。 ・任期付常勤係長職のスクールソーシャルワーカーを核に組織体制の強化を行ってきた。	・クロムブックを活用し事務の効率化を図る。 ・教室数を1室増やし、学習環境の充実を図る。 ・令和3年度を最後に係長職の任期が終了することから、教育センター全体の組織体制を含め組織の再構築を行う。	1,590
69	1306-03 教育相談経費	教育センター	—	・事務室のレイアウト変更を行い、3つの事務室に分散していた心理職をひとつの部屋に集約することで、情報の共有と連携しやすい環境を作り、超過勤務の削減を目指す。	1,161
70	1601-01 障害者の差別解消に係る合理的配慮の充実(インターネット議会中継への手話通訳の導入)	議会総務課	・中継システムの改修や保守を、議会システム全体の保守に含めることで、経費削減を図った。 ・聴覚障害者に対して区議会及び区政についての理解の促進につなげた。	・引き続き、手話通訳の実施について周知すると共に、手話通訳ができない難聴者にも議会及び区政についての理解の促進を図るため、字幕の導入も検討する。字幕は、手話ができない難聴者や、音声からの情報が理解しにくいという方にも効果があると思われ、より障害のある方への合理的配慮が促進される。	1,250